

グリーンポトスニュース

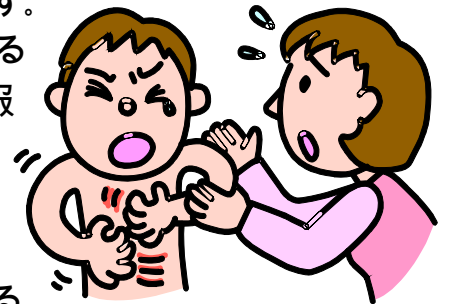
57号：2002年5月

今年は、サクラもあつという間に散ってしまい、新緑がまぶしい季節になりました。そこで、今月の話題は『アトピー性皮膚炎』です。

アトピー性皮膚炎

「アトピー」とは「奇異なもの、奇妙なもの」というギリシャ語に由来しております。つまり、アトピー性皮膚炎とは「よく分からない皮膚炎」といった意味です。最近の研究で、アトピー性皮膚炎の原因は、免疫異常、アレルギーが大きく関わっていることが分かってきました。アレルギーとは、アレルギー(抗原)に対する免疫反応です。アトピー性皮膚炎では、アレルギーの反応の場が、皮膚になります。皮膚に炎症が発生することにより、皮膚の防御機構は破壊されます。そのため、外からの刺激に弱くなり、湿疹が発生します。かゆみを伴うことも病状を悪化させます。かゆいため、全身を掻く事により、皮膚を傷つけて、病変が拡大していきます。

治療は、まず、このかゆみを止めることから始まります。かゆみを止めることができれば、それ以上病状が拡大することはないからです。治療の基本は、抗アレルギー剤の服用と軟膏の貼付です。また、何か集中できることをはじめることです。絵を描くこと、外で遊ぶことなど何でもいいのです。ボーとしているとついつい皮膚を掻いてしまいます。かゆみを忘れさせるためにも、何か集中できることを探すのも重要です。



アトピー性皮膚炎の治療では、本人はもちろん、周囲の方の焦りは禁物です。特に御両親など、周りの人が「皮膚を掻くな」等と、言うことは病状を悪化させることにもつながります。治療が進んでいけば、自然と掻かなくなりますので、ゆったりと見守っていきましょう。

かめざわクリニックでは、花粉症などのアレルギー疾患に対して、星状神経節ブロックにて治療をしております。星状神経節ブロックは、自律神経に働きかけ、免疫力を高める治療方法です。小学校高学年くらいから可能です。花粉症を併発しているアトピー性皮膚炎等は、治療の対象になりますので、ご相談ください。